

# 令和5年度 薩摩川内市民まちづくり公社事業報告書

## I はじめに

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に分類され、文化施設、社会体育施設、公園等の管理受託施設において、通常の管理、運営が可能となったところであり、基本的な感染対策を徹底しつつ、市民の皆様へ安全・安心・快適なサービスの提供に努めました。特に、指定管理受託施設においては、基本協定及び年度契約に基づく適切な管理、運営を行い、当該施設の利活用促進及び利用者の利便性向上に努めました。

また、年度当初に定めた事業計画の受託施設管理事業や芸術・文化・スポーツ振興事業など、7つの公益目的事業については、事業の縮小や中止等もなく総じて実施できたところであり、当公社の設立目的の一つである薩摩川内市と連携した芸術・文化・スポーツ等の振興による市民の皆様の生涯学習の推進と福祉の向上のため、市民の皆様のニーズに応え、事業を実施できました。

令和5年度に実施した事業の概要は、次のとおりです。

## II 公益目的事業

### 1 受託施設管理事業

令和5年度の受託施設管理事業については、指定管理者制度等に基づき、薩摩川内市から管理受託する文化施設、社会体育施設等、136の公共施設の管理、運営を適切に実施しました。

特に、入来文化ホール、川内歴史資料館、川内まごころ文学館、せんだい宇宙館、サンアリーナせんだい、中央図書館等の集客施設においては、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策を徹底し、安心して利用していただくとともに、施設の安全点検、消防・防災訓練を実施したほか、新規採用職員を中心に普通救命講習を受講するなど、利用者の安全確保にも配慮しました。

また、公園等においては、安全、快適に利用していただけるよう、定期的な設備や遊具の点検、清掃、花壇の管理等を行い、必要に応じて施設等の修繕、樹木の剪定、芝刈り等を適切に実施するとともに、利用者満足度アンケート調査の利用者意見等を踏まえながら、よりよい施設の管理運営に努めました。

加えて、管理受託施設では、次に掲げるとおり、市民の皆様の生涯学習の推進に寄与すべく、各種展示会のほか、生涯学習講座、工作教室等を開催したところであり、この結果、受託施設管理事業において、人件費を含み、管理運営のための直接経費として、472,768,281円を支出しました。

#### (1) 薩摩川内市入来文化ホール

令和5年度の利用件数は489件、利用者数は16,479人となり、いずれも

前年比16.6%、10.8%の減となったところであり、これは、主に入来地区を中心に多くの利用があったものの、前年度に比べ各種会議の利用及び新型コロナウイルスのワクチン接種会場としての利用が減少したことにより、令和5年度の利用件数、利用者数はともに減少しました。

## (2) 薩摩川内市川内歴史資料館

施設利用の制限が解除されたことから、歴史資料館では予定した事業をすべて実施することができ、入館者数は、前年比23.0%増の7,544人となり、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復しました。

企画展示では、感染対策を講じたうえで、トピック展示「南北朝時代の薩摩川内」、終戦記念展示コーナー「郷土から知る戦争」、開館40周年記念特別展「歴史を紐解く宝もの～国指定重要文化財『新田神社文書』と『船大工樗木家関係資料』～」など、市民の多くの世代の興味、関心に応える展示を実施したほか、教育普及活動では、歴史講座や工作教室の開講のほか、1階図書コーナーでの簡易なパネル展示、学芸員による出前講座やいきいき生涯学習事業を実施しました。

特に、展示については、他の博物館と連携した展示企画や、展示に関連する講演会を開催するなど、入館者増につながる取組を行うとともに、戦没者追悼式会場においても、終戦記念展示コーナーの出張展示及び解説を行いました。

また、薩摩国分寺跡史跡公園及び横岡古墳公園については、園内巡回や樹木剪定、除草等を適切に行い、施設等の美化に努めました。

## (3) 薩摩川内市川内まごころ文学館

歴史資料館と同様、施設利用の制限が解除されたことから、文学館では予定した事業をすべて実施することができたものの、前年度に多くの入場者があった貸館事業（「Dr.コトー診療所」原画展）における入場者数の反動減や空調工事の影響により、入館者数は前年比11.0%減の8,420人となりました。

企画展示では、開館20周年記念事業として、「来日100年記念—アインシュタインの日本講演旅行—」の巡回パネル展を皮切りに、里見弴生誕記念展示「有島家の兄弟～里見弴と有島武郎～」に併せてニセコ・有島記念館移動展「有島武郎没後100年記念 有島武郎と北海道」を開催するとともに、トピック展示「関東大震災と改造社」を開催しました。

教育普及活動では、学芸員による出前講座やボランティアグループ「まごころ」等による「お出かけおはなし会」を実施するとともに、まごころ文芸講座、名作シネマ上映会、まごころ児童絵画展などを実施しました。

## (4) 薩摩川内市寺山いこいの広場

施設内の設備や遊具などの安全管理に努めるとともに、シルバー人材センターを活用しながら、花壇の管理や公園内の草払い等を実施し、利用者に親しまれる花いっぱいの公園づくりに努めました。

なお、寺山レストランやゴーカートとの連携を図り、集客に努めましたが、新型コロナウイルス感染症による施設利用の制限が解除され、他の観光施設への拡散が見られたこと等から、令和5年度の寺山いこいの広場の利用者数は、前年比3.1%減の147,609人となりました。

#### (5) 薩摩川内市せんだい宇宙館

令和5年度においては、薩摩川内市受託事業として、企画展「太陽がほえる！～太陽の秘密を追え！～」を開催したほか、寺山子どもフェスタ、寺山秋まつり及び宇宙館フェスタのイベントを開催するとともに、ペルセウス座流星群や中秋の名月、部分月食などの観望会、天体カードや光る剣などを作る工作教室等、キラキラ寺山事業を実施し、入館者増に努めました。更には、新アトラクション「フライングギャラクシー」の導入も相俟って、入館者数は、平成21年度以来1万4千人を超え、前年比15.6%増の14,855人となりました。

#### (6) 各種公園、緑地等の管理

各種公園、緑地等については、定期的に設備、遊具、樹木、芝、雑草の状態等を点検し、適切に受託施設の維持管理及び補修を実施しました。

また、施設内の大木等については、専門業者に委託して剪定を行ったほか、継続的に雑草等の管理が必要な施設については、シルバー人材センターに業務委託を行いました。

#### (7) 体育施設の管理

体育施設のうち、武道場やトレーニング室等を含むサンアリーナせんだいの利用者数は、施設の利用制限の解除等に伴い、例年実施の各種大会が開催されたことから、前年比17.0%増の209,039人となりました。

また、総合運動公園全体においても、前年比14.4%増の357,707人となり、新型コロナウイルス感染症の拡大前の利用者数に回復しつつあります。

そのほか、御陵下公園の施設及び屋外運動場照明施設においても、新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、利用者数は前年から5.0%増の49,705人となりました。

#### (8) 薩摩川内市立中央図書館の運営

薩摩川内市立中央図書館の夜間を含む平日及び休日の運営、貸出・返本受付のほか、読書週間におけるイベントや図書館フェスタの開催、おはなし会や映画会、各種の教養講座の開催、移動図書館車の運行などを行い、利用者増に努めました。

この結果、令和5年度においては、中央図書館の利用者数は、前年比3.6%増の71,135人となりました。

## 2 芸術・文化・スポーツ振興事業

令和5年度の芸術文化振興事業は、「夏井いつき句会ライブ」及び「NAOTO アコースティックコンサート with 榊原大」をSSプラザせんだい多目的ホールで開催しました。

句会ライブは、これまで開催してきたコンサートや舞台芸能、講演会と異なり、来場者参加型として来場者が俳句を作成し、投稿された俳句の解釈を発表するなど、講師と対話形式で進行されたところであり、市民の皆さんに俳句に触れる機会を提供できました。

また、コンサートでは、NAOTO氏の軽快なヴァイオリン演奏に加え、榊原氏のリズム感あふれるピアノ共演によるクラシックからポップス、ジャズの演奏を観客の皆さんに楽しんでいただきました。

なお、これら芸術文化振興事業については、市から補助金4,000,000円の交付を受けて実施しました。

## 3 いきいき生涯学習事業

いきいき生涯学習事業は、令和5年度において13種類の講座を20回開催し、264人の方に参加していただきました。

具体的には、創作体験の講座として、「フラワーアレンジメント教室」、「はじめてのパン作り教室」、「こけ玉づくり講座」、「牛乳パック灯籠作り」、「多肉植物寄せ植え教室&相談会」、「パステル画教室」などを開催するとともに、歴史資料館では「般若心経を書きましょう」を、また、小中学生を対象に「夏休み書道教室」を開催するなど、大人から子どもまで学べる機会を提供しました。

なお、サンアリーナせんだいにおいて初めての試みとして計画した「ニュースポーツ体験会」については、かごしま国体への対応等のため、開催を見送りました。

以上、いきいき生涯学習関連の自主事業経費は、435,130円となりました。

## 4 花と緑のまちづくり事業

前年度に引き続き、「花苗の無料配布」を実施し、地区コミュニティ協議会や自治会等への配布を行い、地域や公共施設等における環境美化の向上等に貢献することができました。

また、泰平寺公園の花壇やプランターへの花苗の植栽、管理を実施していただいたボランティア団体の活動を支援し、環境美化に努めました。

## 5 キラキラ寺山事業

これまで同様、寺山の各施設が連携し、寺山いこいの広場全体の利用拡大に努め、特に、せんだい宇宙館では、宇宙・天体に興味を持ってもらうため、市民星空観望会のほか、ペルセウス座やふたご座の流星群の観望会、天体カードや光る剣などを作るウィークエンド工作等をキラキラ寺山事業として実施しました。

また、少年自然の家と連携協力し、市内の小学校に出向いて出張市民星空観望会

を実施しました。

## 6 サービス事業

受託施設への公衆電話の設置や各管理施設でのコピーサービスなど施設利用者の利便を図りました。

## 7 広報宣伝事業

公社の自主事業や管理施設の行事予定、事業結果等について、公社広報誌「アクスタイム」、南日本新聞折り込みチラシ「南日本家庭メモ」の裏面活用による「アクスタイム情報」、公社ホームページ、SNS等による広報宣伝を実施しました。

また、薩摩川内市の広報紙「広報薩摩川内」、新聞、FMさつませんだい、各種情報誌を活用し、情報発信に努めました。

## Ⅲ 収益事業

### 販売事業

施設利用者等の利便を図るため、サンアリーナせんだい売店の経営のほか、せんだい宇宙館でのグッズ販売、管理施設への清涼飲料水等の自動販売機の設置、運営を行い、その収益については公益目的事業を実施するための財源として活用しました。

収益事業の収支は、収益14,110,876円に対し、経費11,889,097円であったことから、2,221,779円の黒字となりました。

## Ⅳ 事務局

### 事務局の管理運営

当公社の設立目的に沿って公益目的事業等の事業活動を円滑に実施するため、的確な予算及び事務の執行を行いました。

## 終わりに

当公社は、これまで受託管理施設の管理運営及び利活用の促進に取り組みつつ、生涯学習、芸術文化、スポーツ振興等に係る公益目的事業を実施し、薩摩川内市と連携し、市民の皆様に生涯学習の機会や質の高い芸術文化等に触れる機会を提供して参りました。

今後におきましても、職員一人ひとりが市民の皆様のニーズを積極的に把握し、「安全・安心・快適」なサービスを提供し、市民の皆様に喜ばれる事業を実施するなど、更なる市民福祉の向上に寄与できるよう努めて参ります。